

優良種苗確保事業

(執行委任：農林水産部治山林道課)

藤原 貢

1. 採種源整備事業

二本木地内の採種園・採穂園を対象に、下刈り 2.19 ha(延べ面積)、更新準備のためスギ採種木等を 343 本伐採した。

奥田清貴

2. 採種園・採穂園改良事業

(1) 原種保存

採種木、採穂木の原種保存のため、挿し木苗の養苗を行った。

(2) 少花粉スギ採種園の管理

ミニチュア採種園(0.07 ha)において、7月にジベレリンによる着花結実処理を実施し、2～3月に人工交配した。

昨年度、少花粉スギ間で人工交配して着果させ、採取した交配種子 196 g(発芽率は平均 37.2%)を三重県林業種苗協同組合連合会に売り払った。

(3) エリートツリーによるミニチュア採種園の造成

林木育種センターで開発されたスギ・ヒノキのエリートツリー(第2世代精英樹)の配布を受け、構内にスギ・ミニチュア採種園(141 m²)、ヒノキ・ミニチュア採種園(220 m²)を造成した。平成26年度も造成を継続する。

3. 品種改良事業

選抜された精英樹の遺伝特性を検定するため、南伊勢町大字伊勢路地内に設定されているヒノキ次代検定林(西三ヒノキ15号)において30年次調査を行った。測定した樹高、胸高直径等のデータは林木育種センター関西育種場へ送付した。

なお、昭和44年度から実施してきた次代検定林調査は今回の調査をもって終了した。

4. マツノザイセンチュウ抵抗性クロマツの売り払い

川口採種園に設定してあるマツノザイセンチュウ抵抗性クロマツ採種園(0.5 ha)から採取した種子 490 g(発芽率 58.3%)を三重県林業種苗協同組合連合会に売り払った。